

Japan 4x4 & YURI 4x4 リアドライブディスコネクト 取付けマニュアル



Installation Guide
for Rear Drive Disconnect

Model No. RDD3



<ご注意> 本マニュアルは、機械操作式・オプションマスターシリンダー無し、に対応しています。

作業を開始する前に本マニュアルの全てに目を通してください。

本マニュアルは、YURI4x4 Rear Drive Disconnect 製品の取付けにおいて、共通の作業手順、注意点や有益な作業要領について記載されています。従って、それぞれのお車ごとに必要となる作業手順の詳細や、調整手順、調整に必要な数値などについては、それぞれのお車専用のサービスマニュアル(整備書)を参照していただくようお願いいたします。

<はじめに>

YURI4x4 Rear Drive Disconnect は、四輪駆動車の後輪駆動切断を室内から操作できるようにする画期的な装置です。リアのみ駆動を切り離す事によって前輪駆動となり、様々なシチュエーションにおいて駆動輪の選択肢が広がります。オプションのブレーキマスターシリンダーを取り付けると、リア駆動を切り離すと同時に後輪のみブレーキを効かせる事ができるようにもなり、後輪を中心としたタイトターンも可能となります。

この製品は、オフロードでの使用を目的とし、開発、設計、テストが行われています。想定外の使用方法において発生した損害について、いかなる損害賠償責任も負わないものといたします。また、この製品の取付けによる不法行為についても責任は負いません。(この製品が取り付けられた車両を公道で使用する場合、法令違反となる事があります。詳しくは、各地方管轄の陸運事務所へおたずねください。)

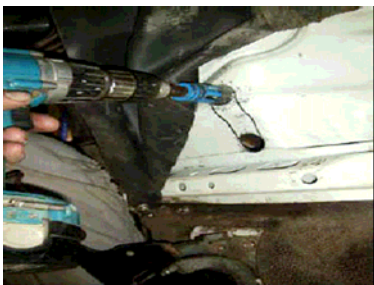
Japan 4x4 & YURI 4x4

<取付け手順>

- 車両が動き出さないよう、パーキングブレーキを確実に作動させ、安全のために輪止めをご使用ください。
- トランスファーオイルを適当な容器へ抜き取ります。
- リアプロペラシャフトを取り外し、全長が80mm短くなるよう加工します。

弊社ではプロペラシャフトの加工は賜っておりません。全長を指定した上で、特注プロペラシャフトを制作する事は可能です。必要に応じて弊社へご相談ください。

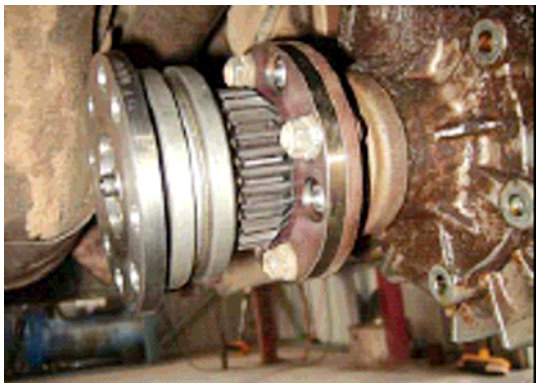
- トランスファーケースの上にあるフロアパネルを加工するため、運転席を外してその下のフロアカーペットをめくります。
- 製品に付属の型紙を使用して、フロアパネルを切り取る形にケガキ線をいれます。
- 30mmホールソーやグラインダー等を利用して、ケガキ線のとおりに穴をあけます。穴をあけた断面は金属面が見えていますので、サビを防ぐために塗装を行ってください。



- フロアカーペットを元に戻して穴をあけた中心線をカットします。座席を元通り取り付けます。



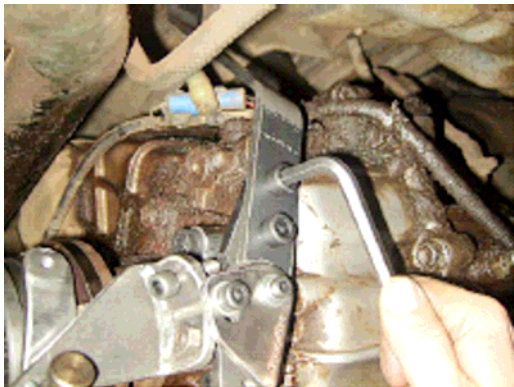
- リアドライブアウトプットフランジの取付け面を、サビ、汚れ、金属粉、等の付着がないよう、きれいに掃除してください。
- Rear Drive Disconnect のクラッチ部分をアウトプットフランジに取り付けます。ボルト、ワッシャーは元々プロペラシャフトを固定していたものを使用し、88Nm(880kgf·cm)で締め付けます。
- この時、トランスファーケースのベアリングリテーナーハウジング下側にある、4本の固定ネジを外しておきます。(写真参照)



- シフトフォークのピンがスライドリングの溝にはまるように、Rear Drive Disconnectのリンク部分を下から挿入します。(必要に応じて、ピンとスライドの位置が合うよう、フランジを回転させてください。)
- 製品付属の**M10x1.5x60mm**のキャップスクリューを用いて、リンク部分をトランスファーケースに固定します。液状ガスケットをネジ部を頭へ塗布し、34Nm(340kgf·cm)で締め付けます。各固定ネジは均等に少しずつ締め込んでください。



- シフトレバーをフロアパネルに開けた穴に入るよう差し込み、**M10x1.5x25mm**のキャップスクリュー、ナット、スプリングワッシャーを使用して根元をリンク部分へ固定します。締め付けトルクは32Nm(320kgf·cm)です。



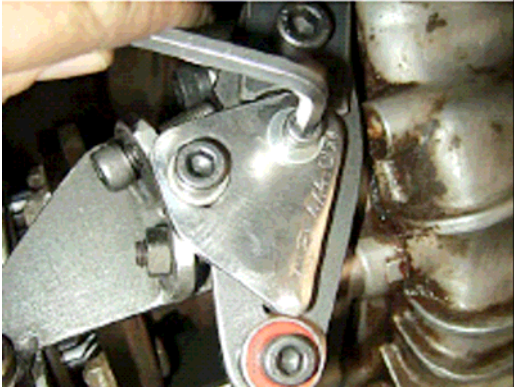
- シフトレバーを動かし、レバーの動く範囲がフロアパネルの穴に干渉しないかチェックします。必要に応じて、写真の位置にある当たり止めネジを適切に調整してください。下側のネジがレバーを前方に動かした時の当り止めになります。上側のネジが後方に動かした時の当り止めです。



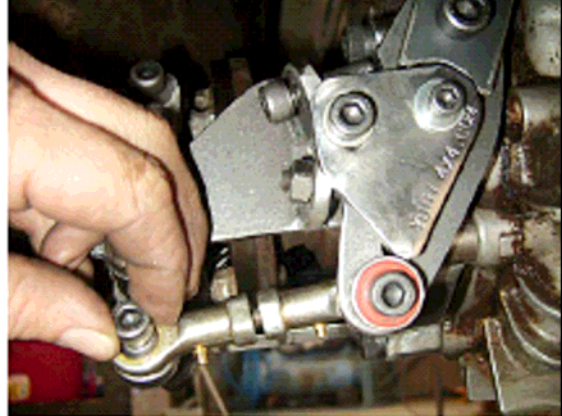
- シフトレバーを前方いっぱいシフトした状態で、クロームインデックスプレート(三角形の板)にある6mmと5mmのキャップスクリューをそれぞれ2回転ずつ緩めます。クロームインデック

スプレートを写真のように指でつよく後方いっぱい押し付け、緩めたネジを締め付けます。締め付けトルクはそれぞれ9Nm(90kgf・cm)と5Nm(50kgf・cm)です。

- 室内からレバーを操作し、前方の位置から下げる際にしっかりとした操作感があるか、確認してください。(確認後、レバーの位置は前方に戻して下さい。)



- シフトレバーを操作し、シフトフォークを挿入したスライドリングの端面とアウトプットフランジ固定ネジの隙間が約1mmになるように、スライドリングを移動させます。シフトレバーを前方いっぱい操作したとき、隙間の1mmが確保されるよう、コントロールロッドの長さを調整します。コントロールロッドをネジ(M8x1.25x30)でシフトフォークに取付け(22Nm(220kgf・cm))、裏側からナイロンロックナットで固定してください。



- クラッチ側フランジを手で回転させながらシフトレバーを操作し、クラッチが操作が確実に入ることを確認してください。
- トランスファーケースへ指定されたトランスファーオイルを適正量まで注入します。
- 短く加工したプロペラシャフトを元通り組み付けます。クラッチ側フランジの固定方法は、M10x1.0x30ボルトをクラッチ側フランジの前方から挿入し、88Nm(880kgf・cm)で締め付けます。

この時、プロペラシャフト前後にあるユニバーサルジョイントの位置関係が、シャフトの前後方向からみて、正しく直角の位置関係になるよう、スプラインを組み合わせてください。前ジョイントと後ジョイントの位置関係が直行していない場合、高速走行時にプロペラシャフトの回転バランスが悪くなり、振動が発生し非常に危険です。

- クラッチ、スライドリングの歯、およびスライドリングの溝周辺へ、二硫化モリブデングリースをたっぷり塗布しておきます。

<メンテナンス>

- 時々、クラッチ、スライドリングの歯、およびスライドリングの溝周辺を清掃し、二硫化モリブデングリースでグリスアップをしてください。砂、泥などの汚れの蓄積は、機能低下を招きます。
- シフトレバーピボット、セレクトフォークピボットおよびコントロールロッド連結部へは、定期的なグリスアップを行ってください。

本資料に記載された内容は、製品からのフィードバックによる仕様変更、新開発などのために予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日本総輸入元・お問い合わせ・連絡先

Japan4x4有限公司

兵庫県明石市硯町3丁目1番24号

tel. 078-923-3518 fax.078-922-3000

www.japan4x4.com

email: sales@japan4x4.com

販売店